

大津市北部廃棄物最終処分場 運営連絡会だより

2023
年度版

『大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会だより』の発行にあたって

大津市北部廃棄物最終処分場では、北部クリーンセンターから排出される焼却灰や不燃物を埋立てており、昭和60年の開設以来2度の増設を行ってきています。

大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会では、施設周辺の住民代表の皆様に参加いただき、処分場の運営状況や処分場をめぐる課題等を共有し、今後のあり方について意見を交わしていただいています。

去る8月10日（木）に今年度の「運営連絡会」を開催しましたので、概要をお知らせします。

IP Camera 01



令和5年度 運営連絡会構成員（敬称略）

地元代表

| | | | |
|-------|--------------|-------|---------------|
| 荒堀 光信 | 伊香立学区自治連合会会長 | 辻中 洋一 | 伊香立学区自治連合会副会長 |
| 西上 清紀 | 真野学区自治連合会会長 | 濱本 昌嘉 | 真野学区自治連合会副会長 |
| 吉田 昌弘 | 真野北学区自治連合会会長 | 西方 孝 | 真野北学区自治連合会副会長 |
| 徳岡 明治 | 和邇学区自治連合会会長 | 松尾 一彦 | 和邇学区小野自治会長 |
| 近藤慶次郎 | 小野学区自治連合会会長 | 内田 成康 | 小野学区環境整備推進員代表 |

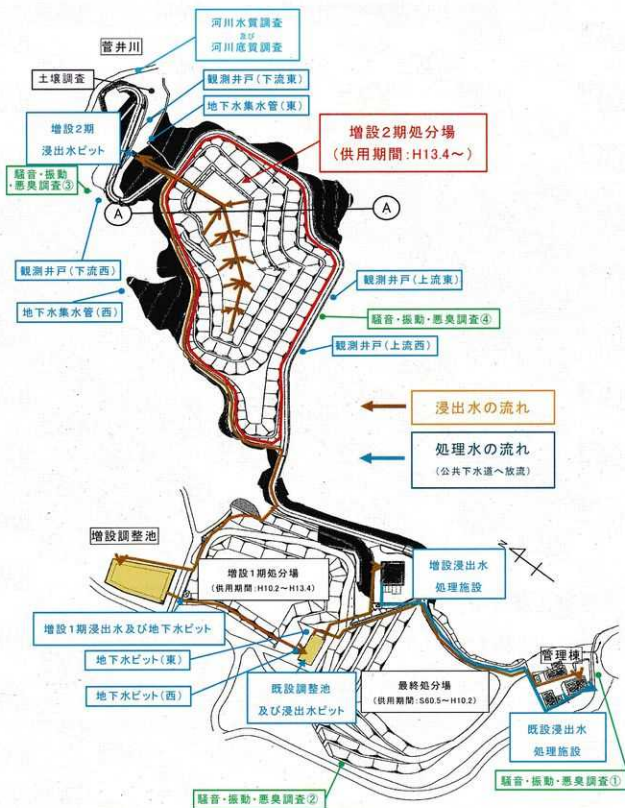
市代表

初田 久徳 大津市環境部長

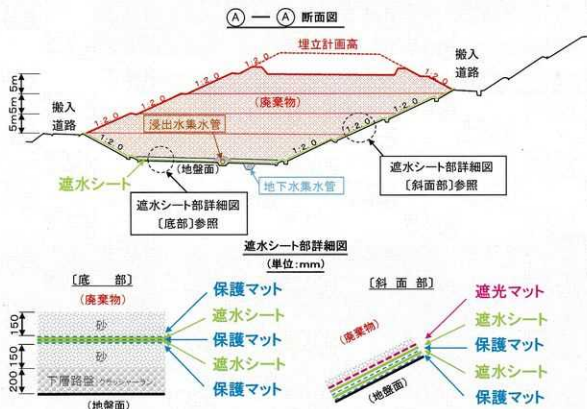
浸出水及び処理水について

- ・処分場内の水の流れは下図に示すとおりとなっています。
- ・浸出水は浸出水ビットに集まった後、ポンプにより浸出水処理施設へ送られます。(図の茶色の矢印)
- ・浸出水処理施設において処理された水は、公共下水道へ放流されます。(図の青色の矢印)

北部廃棄物最終処分場の浸出水の流れ及び調査地点位置図



- ・処分場の構造としては、まず下図のとおり窪地を成形し、そこへ廃棄物を順次埋め立てていきます。埋立の際に底面及び斜面から浸出水が地下へ漏水しないよう、造成時にはシートにより遮水しておきます。
- ・遮水シート部詳細図に記載のとおり、遮水シートを二重に敷き、さらに廃棄物を埋め立てる前に砂などで遮水シートを覆い安全性を高めております。



環境基準

- ・環境基本法第16条で人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、水質や土壌などについて定められています。

ダイオキシン類

- ・他の多くの化学物質とは異なり、製造を目的として生成されたものではなく、炭素、酸素、水素、塩素が熱せられるような行程で意図せずできてしまうもので、廃棄物の焼却過程や金属精錬の燃焼行程、紙などの漂白行程などで発生します。

大阪湾広域臨海環境整備センターの埋立事業

- ・大阪湾における埋立事業計画は、近畿管内自治体や港湾関係者等からの出資などによる事業であり、175市町村から排出される廃棄物、建設工事に伴う土砂等を適正に処分し、大阪湾圏域の生活環境の保全と港湾機能の再編・拡充、新たな埋立地を活用した地域の発展に導く事業となっています。詳細は、大阪湾広域臨海環境整備センターホームページ内の「大阪湾フェニックス計画」のページをご覧ください。

大津市北部廃棄物最終処分場の運営状況を地域住民の皆様にお伝えするため、「運営連絡会だより」を発行してまいりましたが、これまで以上に、よりわかりやすく、より身近に感じていただくため、今回の発行から、内容・紙面ともに一新いたしました。

「大津市北部廃棄物最終処分場運営連絡会だより」は、これからも北部廃棄物最終処分場について、最新情報や大津市における廃棄物処理の取り組みなどを、周辺地域にお住いの皆様にご紹介し、市政情報の公開と共有の役割を担ってまいります。是非、ご覧いただき、ご意見・感想等をお寄せいただければ幸いです。

用語解説



運営連絡会
報告概要

LOOK!

環境調査を行い、安全性を確かめています (調査地点は裏面図参照)

処理水及び地下水の水質は毎月、処理水及び地下水のダイオキシン類は年2回、その他の項目は年4回の調査を実施しています。

ア) 騒音

敷地境界4地点において実施し、いずれも法規制値(55デシベル)を下回っていました。

イ) 振動

敷地境界4地点において実施し、いずれも法規制値(60デシベル)を下回っていました。

ウ) 悪臭

敷地境界4地点において実施し、いずれも法規制値(15)より厳しい基準値(10)を下回っていました。

エ) 土壌

隣接地から採取した土壌を分析したところ、全10項目について環境基準値を下回っていました。

オ) 河川

菅井川から採取した水や川底を分析したところ、全項目で環境基準値を下回っていました。

カ) 処理水及び地下水

浸出水処理施設からの処理水及び観測井戸等から採取した地下水について、水質及びダイオキシン類に関する分析をしたところ、いずれも全項目で法定の基準値を下回っていました。

キ) 焼却灰及び飛灰処理物

ダイオキシン類を分析したところ、いずれも法定の基準値を下回っていました。



ごみの搬入状況及び
環境調査の詳細は、
右記のQRコードから
北部クリーンセンター
ホームページを
ご覧ください。



運営連絡会 議事より

Q: 既に埋立がかなり進んでいるようだが、将来、処理しきれなくなる心配はないのか?

A: 当施設は令和5年8月現在、約88%まで埋立が進んでおります(裏面④-④断面図の赤色着色範囲が埋立済)。本市としては、施設を更に長く使えるように市民の皆様にごみのリサイクルの推進をお願いするとともに、大阪湾広域臨海環境整備センターの埋立事業計画を活用しながら適正な処理に努めております。